

年に一、二度遠足があり、低学年は黒松金比羅山か八石、高学年は水の元などでした。又、井田村（現千歳村）の白鹿山、五年の時は沈墮の発電所や緒方の原尻の滝の見学で疲れた思い出もあります。

運動会は毎年秋ありました。家族皆が見に来てくれて大変にぎやかでした。又、五年生以上は井田郷（長谷、犬飼、井田、柴原）の連合運動会が井田小学校や柴北河原で開かれました。又、春は井田郷の連合学芸会が催され書道、図画、唱歌、話し方等がありました。又、現在のように家庭訪問はなくて、一年生から高等科までで部落学芸会がありました。

通学は現在のように道路が整備されてなく、私共長畑は今の新飼橋はなく、木橋の落合橋が通学中二度も流され大変不便でした。又、黒松の小野橋、葛川に行く橋もなく、津ヶ無礼、葛川の生徒達は学校に行けない時もありました。

私達大正四年入学の生徒は四十四名でしたが現在生存者は男子十一名女子七名かと思えます。同級生のうち、小学校五年までで、後は自分で苦学し四十二歳で大分警察署長、後にトキハ重役になった人、林業一筋で黄綬褒賞を受けた人、独学厚生事務官になった人、大東亜戦戦死者准尉、兵より特進中尉になった人等有ります。長畑部落での長谷小学校卒業最長年者現存者は九十二歳甲斐田馬氏で明治三十九年四年制卒業であります。